

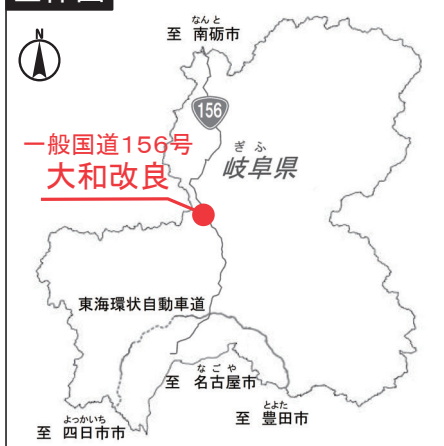
一般国道 156 号大和改良の開通について（事業概要と整備効果）

国土交通省 中部地方整備局 岐阜国道事務所

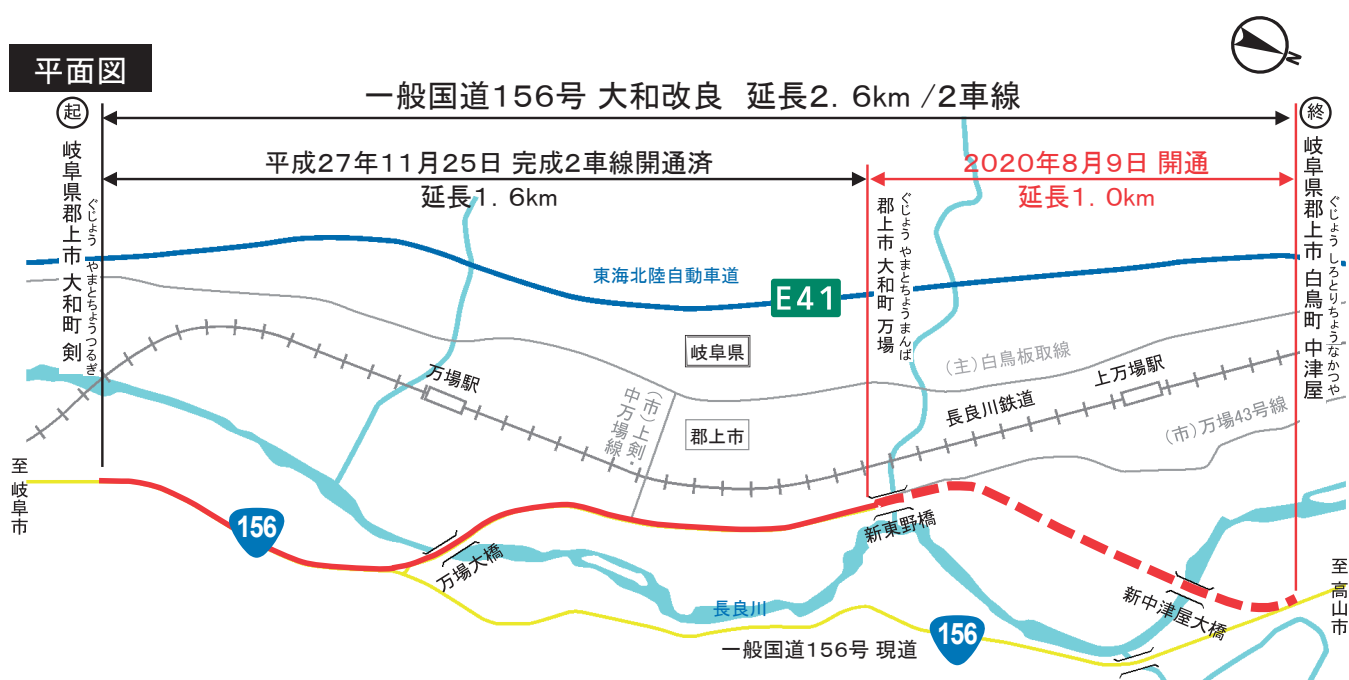
1 はじめに

一般国道 156 号大和改良は、岐阜県郡上市大和町剣から白鳥町中津屋に至る延長 2.6km のバイパスで、現道の防災課題箇所の回避や交通安全の確保を目的に計画された道路で、令和 2 年 8 月 9 日に全線開通しました。

全体図



平面図

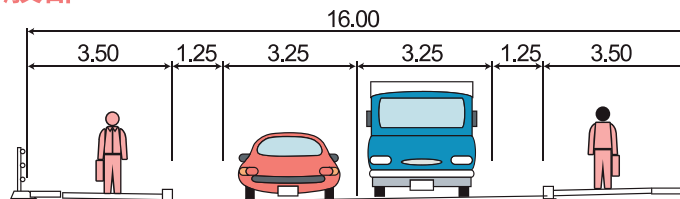


2 事業概要

一般国道 156 号大和改良の事業概要は、以下のとおりです。

- ・道路規格：第 3 種第 2 級
- ・延長：2.6km
- ・設計速度：60km/h
- ・事業期間：事業化 平成元年度
用地着手 平成 13 年度
工事着手 平成 20 年度
部分開通 平成 27 年度
(郡上市大和町剣～郡上市大和町万場 2 車線)
全線開通 令和 2 年度

標準断面図 一般部



3 一般国道 156 号現道の課題と期待される整備効果

■防災課題箇所

一般国道 156 号現道は、斜面崩落や落石等の危険を有する山と、豪雨による路面崩落等の危険を有する川に挟まれた道路です。過去に 17 回（昭和 46 年～令和元年の 48 年間）、土砂流出や増水による路面崩壊等で被災し、通行止めを経験しています。

一般国道 156 号大和改良の開通により、被災リスクが高い一般国道 156 号現道を回避し、災害に強い道路網を構築します。



写真① 路面崩落の発生状況



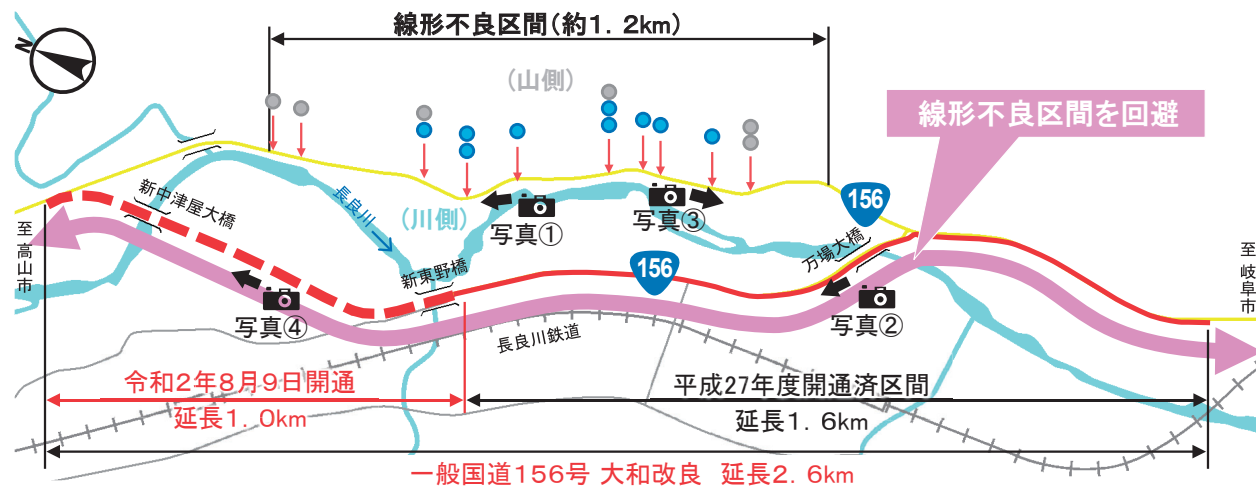
写真② 土砂流出の発生状況



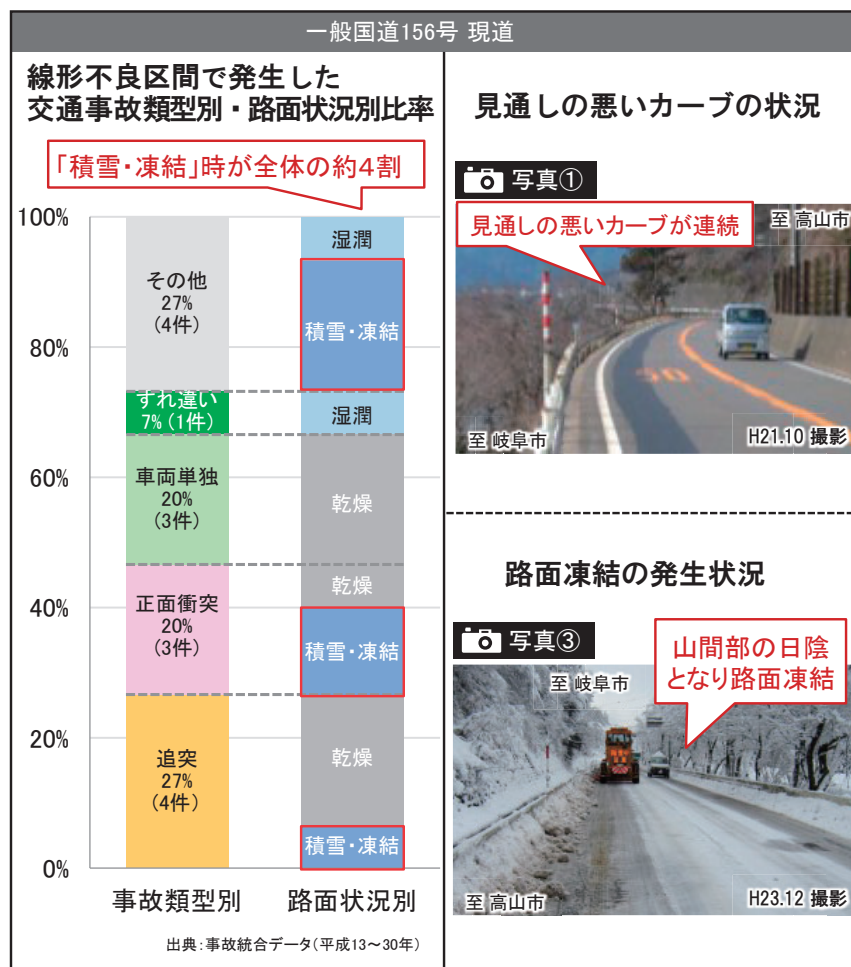
交通安全の確保

一般国道156号現道は、見通しの悪いカーブの連続（線形不良区間）に加え、冬期には山間部の日陰となり路面凍結が発生することもあり、事故発生の危険性が高い道路です。

一般国道156号大和改良の開通により、現道の線形不良区間や路面凍結状況を回避し、交通事故の減少が期待されます。



凡例	一般国道156号 現道	● 冬期事故(12～2月)	● 冬期以外の事故(3～11月)
	■ 開通区間	— 開通済区間	(※事故発生場所は、事故統合データ 平成13～30年を集計)



4 開通式典及びセレモニー

平成元年度の事業化から約 30 年の期間を要し、「一般国道 156 号大和改良」は、全線開通となりました。コロナ禍にはありましたが、この開通を長年にわたりご協力いただきました地元の皆様とお祝いするべく、開通式典及びセレモニーを開催いたしました。

開通式典の様子は、ダイジェスト版として岐阜国道事務所のフェイスブックにて公開しています。



5 おわりに

一般国道 156 号大和改良の全線開通により、現道の防災課題箇所の迂回や、冬期の交通安全の確保などの効果が発現し、防災と安全性の向上に寄与するものと考えます。

なお開通後の効果調査については、開通後、間もないことから、今後も引き続き調査を行って参ります。

最後になりましたが、一般国道 156 号大和改良の事業にご協力いただきました皆様や、携われた関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

事業の詳細や開通式の状況などは、岐阜国道事務所 HP をご覧ください。

<https://www.cbr.mlit.go.jp/gifu/>